



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社ハーバー研究所
コード番号 4925 URL <https://www.haba.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮崎 一成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務・経理部担当 (氏名) 高崎 明彦

TEL 03-5296-6250

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 証券アナリスト・機関投資家向け

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	5,527	2.2	464		463		345	
2023年3月期第2四半期	5,652	5.5	346		324		230	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 343百万円 (%) 2023年3月期第2四半期 228百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	91.33	
2023年3月期第2四半期	61.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	14,408	10,279	71.3
2023年3月期	14,655	10,773	73.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 10,279百万円 2023年3月期 10,773百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		0.00		40.00	40.00
2024年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,500	12.1	390		400		250		66.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	3,935,000 株	2023年3月期	3,935,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2024年3月期2Q	153,481 株	2023年3月期	153,481 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	3,781,519 株	2023年3月期2Q	3,781,519 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2024年3月期第1四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の沈静化傾向が続く中、先行き不透明感が残るものの、新型コロナウイルス感染症の生活・経済への影響は大きく軽減しております。また、訪日外国人数はコロナ禍の沈静化・円安を背景に増加しており、インバウンド需要の回復も国内景気を押し上げています。一方で、2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻が長期化し、世界的な資源・エネルギー価格の上昇、また円安に伴う物価上昇に賃金の伸びが追いつかない実質賃金のマイナスが続いており、さらにはイスラエル・パレスチナの紛争激化による経済活動への影響と先行き不透明な状況に伴う生活防衛意識の高まりなど、今後の個人消費は予断を許さない状況にあります。

当社グループにおきましては、国内市場は生活防衛意識の高まりなどにより、通信販売（EC含む）で年間購入金額が下位ステージの顧客層では対前年比減少となったものの、上位ステージの顧客層では対前年比増加し、また店舗販売（直営店・百貨店）では、インバウンドを中心に回復基調にあり、催事・イベント等も賑わいを取り戻しつつあります。海外市場は輸出の大半を占める中国の薬事関連規制に伴う出荷のずれ込み、処理水放出による日本製品の買い控えなどによる販売活動の回復に遅れが生じているものの、徐々に回復を取り戻しつつあります。

こうした中、当社グループでは、中期経営計画（2023年3月期～2025年3月期）に基づいた事業活動を推進しており、中長期的な視点から持続的成長と企業価値向上に向けた収益基盤の構築を目指し、ロイヤルティの向上・LTV（顧客生涯価値）の最大化、IT基幹システム、環境に配慮した研究開発について優先的に取り組み、ブランド価値の向上に努めております。

具体的には、ロイヤルティの向上・LTV（顧客生涯価値）の最大化に向け、通信販売と百貨店のポイントサービスの統一化（2022年11月）を実現させています。また、当社は本年5月に創業40周年を迎え、40周年を記念して“ディズニー100”デザインの『スマイルフレンズ スクワランセット』、『スマイルフレンズ UVキッズジュエルセット』を数量限定で発売（2023年7月20日より）、10月20日からは第2弾のディズニープリンセスデザインの『ディズニープリンセス スクワラン』、『ディズニープリンセス ハンドセラムセット』を通信販売（ECを含む）及び全国のショップハーバーにて数量限定にて発売しております。さらには2024年1月22日、HABA無添加スキンケアメイクアップシリーズの一斉リニューアルを実施し新発売いたします。これらを通じて、顧客の利便性や満足度の向上並びに積極的な事業基盤の構築をはかっております。ブランド認知度の向上に向けては、TVC、オンライン美容講座等の実施のほか、本年9月よりタレント、メイクアップアーティスト、ユーチューバーを起用した輝く“美と健康”のトークライブ番組「キラキラシンデレラ」（ユーチューブ公開ライブ配信）を展開し、新たなファンの獲得と育成に向けた取組みを進めております。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の当社グループ連結売上高は、5,527,019千円（前年同四半期比2.2%減）となりました。

品目別売上上の基礎化粧品は3,630,462千円（同6.7%減）、メイクアップ化粧品は452,462千円（同18.2%増）、トイレットリーは294,926千円（同6.4%増）、健康食品・雑貨等は1,139,471千円（同5.3%増）となりました。

販売ルート別売上では、通信販売（EC含む）が3,264,323千円（同0.8%減）、百貨店向卸売は565,908千円（同23.3%増）、その他卸売1,401,288千円（同15.0%減）、直営店295,486千円（同16.8%増）となりました。

売上原価は、1,747,683千円（同0.2%増）となりました。販売費及び一般管理費は、広告宣伝・販売促進費が1,525,129千円（同5.0%増）、その他経費が2,718,523千円（同3.0%減）、合計で4,243,653千円（同0.3%減）となりました。

これらの結果、営業損失は464,317千円（前年同四半期は営業損失346,669千円）、経常損失は463,047千円（前年同四半期は経常損失324,420千円）、法人税等調整額△168,871千円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は345,357千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失230,748千円）となっております。

品目別売上

(単位：千円)

区分		前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
化粧品	基礎化粧品	3,891,403	68.8	3,630,462	65.7	△260,941	△6.7
	メイクアップ化粧品	382,836	6.8	452,462	8.2	69,626	18.2
	トイレットリー	277,070	4.9	294,926	5.3	17,855	6.4
	その他(注)1	19,565	0.4	9,683	0.2	△9,881	△50.5
	小計	4,570,876	80.9	4,387,535	79.4	△183,341	△4.0
健康食品・雑貨等		1,081,671	19.1	1,139,471	20.6	57,800	5.3
化粧品・健康食品等 小計		5,652,547	100.0	5,527,007	100.0	△125,540	△2.2
その他(注)2		19	0.0	12	0.0	△7	△35.7
合計		5,652,567	100.0	5,527,019	100.0	△125,547	△2.2

(注) 1. 期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。

2. カルチャーセンター等の売上が主なものです。

販売ルート別売上

(単位：千円)

区分		前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
販売 ルート	通信販売(EC含む)	3,291,425	58.2	3,264,323	59.1	△27,102	△0.8
	百貨店向卸売	458,890	8.1	565,908	10.2	107,018	23.3
	その他卸売	1,649,236	29.2	1,401,288	25.4	△247,948	△15.0
	直営店	252,995	4.5	295,486	5.3	42,491	16.8
	合計	5,652,547	100.0	5,527,007	100.0	△125,540	△2.2

(注) 上記の合計表は、「品目別売上」の「化粧品・健康食品等 小計」売上に対して記載しています。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比較して291,246千円減少し、9,052,477千円となりました。これは主に、商品及び製品、原材料及び貯蔵品が増加したものの現金及び預金が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比較して44,725千円増加し、5,356,218千円となりました。これは主に、繰延税金資産及びソフトウェアの改修等により増加したことによるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比較して226,928千円増加し、3,025,336千円となりました。これは主に、未払法人税等が減少したものの、買掛金及び1年以内返済予定の長期借入金が増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比較して21,186千円増加し、1,104,350千円となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比較して494,635千円減少し、10,279,009千円となりました。これは主に、利益剰余金が減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は、前連結会計年度末に比較して1,181,426千円減少し、3,636,416千円になりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、963,407千円の支出(前年同四半期は95,277千円の収入)となりました。これは主に、棚卸資産の増加714,450千円、売上債権の増加89,786千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、153,250千円の支出(前年同四半期は35,396千円の支出)となりました。これは主に、サーバー入替え及びソフトウェアの改修等の固定資産取得による支出165,792千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、64,768千円の支出(前年同四半期は465,841千円の支出)となりました。これは長期借入れによる収入500,000千円、長期借入金の返済413,747千円及び配当金の支払額151,021千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,817,842	3,636,416
売掛金	987,265	1,077,051
商品及び製品	1,408,642	1,919,046
仕掛品	69,062	107,073
原材料及び貯蔵品	1,890,533	2,056,567
その他	182,392	271,179
貸倒引当金	△12,014	△14,857
流動資産合計	9,343,724	9,052,477
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,034,728	5,039,044
減価償却累計額	△2,689,455	△2,755,530
建物及び構築物(純額)	2,345,272	2,283,513
機械装置及び運搬具	1,931,923	1,775,226
減価償却累計額	△1,653,864	△1,555,337
機械装置及び運搬具(純額)	278,058	219,889
工具、器具及び備品	1,251,732	1,313,737
減価償却累計額	△1,082,605	△1,109,853
工具、器具及び備品(純額)	169,126	203,884
土地	1,573,134	1,573,134
建設仮勘定	86,742	22,551
有形固定資産合計	4,452,335	4,302,973
無形固定資産		
ソフトウェア	301,388	326,060
その他	14,379	14,349
無形固定資産合計	315,768	340,409
投資その他の資産		
投資有価証券	7,047	9,903
繰延税金資産	235,244	403,195
差入保証金	270,437	272,405
その他	39,118	35,788
貸倒引当金	△8,457	△8,457
投資その他の資産合計	543,389	712,835
固定資産合計	5,311,493	5,356,218
資産合計	14,655,217	14,408,696

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	475,685	657,638
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	801,091	866,189
未払金	680,082	693,346
未払法人税等	162,671	55,941
未払消費税等	26,601	6,420
契約負債	347,844	394,176
その他	104,431	151,625
流動負債合計	2,798,408	3,025,336
固定負債		
長期借入金	1,031,752	1,052,907
その他	51,411	51,443
固定負債合計	1,083,163	1,104,350
負債合計	3,881,572	4,129,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	10,398,693	9,902,075
自己株式	△1,135,943	△1,135,943
株主資本合計	10,771,770	10,275,152
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,875	3,856
その他の包括利益累計額合計	1,875	3,856
純資産合計	10,773,645	10,279,009
負債純資産合計	14,655,217	14,408,696

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,652,567	5,527,019
売上原価	1,744,860	1,747,683
売上総利益	3,907,706	3,779,336
販売費及び一般管理費	4,254,376	4,243,653
営業損失(△)	△346,669	△464,317
営業外収益		
受取利息	27	4
受取配当金	98	108
受取賃貸料	414	414
還付加算金	128	296
助成金収入	※ 23,090	※ 1,639
受取保険金	—	1,172
その他	2,619	1,529
営業外収益合計	26,379	5,164
営業外費用		
支払利息	3,128	3,498
その他	1,001	396
営業外費用合計	4,129	3,894
経常損失(△)	△324,420	△463,047
特別利益		
固定資産売却益	—	5,106
助成金収入	※ 20,428	—
特別利益合計	20,428	5,106
特別損失		
固定資産売却損	—	8,200
固定資産除却損	84	2,707
特別損失合計	84	10,908
税金等調整前四半期純損失(△)	△304,075	△468,849
法人税、住民税及び事業税	45,229	45,378
法人税等調整額	△118,556	△168,871
法人税等合計	△73,327	△123,492
四半期純損失(△)	△230,748	△345,357
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△230,748	△345,357

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△230,748	△345,357
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△512	1,981
為替換算調整勘定	2,618	—
その他の包括利益合計	2,105	1,981
四半期包括利益	△228,642	△343,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△228,642	△343,375
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△304,075	△468,849
減価償却費	277,071	248,041
引当金の増減額(△は減少)	△3,719	2,843
受取利息及び受取配当金	△126	△113
助成金収入	△43,518	△1,639
支払利息	3,128	3,498
固定資産売却損益(△は益)	—	3,094
固定資産除却損	84	2,707
受取保険金	—	△1,172
売上債権の増減額(△は増加)	173,580	△89,786
棚卸資産の増減額(△は増加)	△109,296	△714,450
仕入債務の増減額(△は減少)	147,215	181,953
未払債務の増減額(△は減少)	62,675	20,432
未払又は未収消費税等の増減額	△89,620	△19,525
その他	△82,973	30,285
小計	30,424	△802,679
利息及び配当金の受取額	126	113
利息の支払額	△2,776	△3,601
助成金の受取額	53,009	1,639
保険金の受取額	—	1,172
法人税等の還付額	33,667	510
法人税等の支払額	△19,173	△160,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,277	△963,407
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△63,322	△89,263
無形固定資産の取得による支出	△4,171	△76,529
有形固定資産の売却による収入	—	14,873
長期前払費用の取得による支出	△4,472	△363
差入保証金の差入による支出	△9,199	△2,339
差入保証金の回収による収入	45,769	370
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,396	△153,250
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	200,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△414,770	△413,747
配当金の支払額	△151,071	△151,021
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465,841	△64,768
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,608	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△403,352	△1,181,426
現金及び現金同等物の期首残高	5,651,289	4,817,842
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,247,937	3,636,416

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社においては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症において、5月には感染症法上の分類が5類に引下げられ、経済活動は徐々に回復に向かう事が予想されます。これにより、新型コロナウイルス感染症の影響は緩やかに減少していくとの仮定を置き、会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響は未だ不確実性もあり、今後の状況により、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を与える場合があります。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 助成金収入

前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

営業外収益に計上されている助成金収入は小諸市工場等立地促進助成金等であり、特別利益に計上されている助成金収入は雇用調整助成金(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例)等であります。

当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

営業外収益に計上されている助成金収入は障害者雇用調整金等であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間

(自2023年4月1日至2023年9月30日)

当社グループは、化粧品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。